

コリウス チョコレートミント/ダークチョコレート

学名: *Solenostemon scutellarioides*
種子粒数の目安: グラムあたり約 970 粒

プラグ生産ステージ

ステージ 1 - 播種から幼根の発生まで
(4から 5 日)

- 地温は 22-24°C
- 培地はむらなく湿らせて、水分が過剰にならぬよう注意
- バーミキュライト等で軽く覆土する
- 幼根が発生する頃までは発芽に際して光は不要
- 培地の pH は 5.5 から 5.8, EC 値は 0.75 mmhos/cm(2:1)以下が適正
- コリウスは高濃度の塩類、とくにアンモニアが高くなると障害が現れやすいので、発芽期には注意が必要
- 培地のアンモニアのレベルを 10ppm 以下に抑える

ステージ 2 - 主茎(主軸)の発生と子葉の展開まで
(約 10 日)

- 地温は 22-24°C
- 幼根が現れたら水分のレベルを下げる。培地が少し乾きはじめてから水を与えるような、ドライな管理が発芽と根の生育には適している
- このステージでは、土壌 pH は 5.5 から 6.2, EC 値は 1.0 mmhos/cm(2:1)以下が適正な条件
- 培地のアンモニアのレベルは 10ppm 以下に抑える
- 子葉が完全に展開したら、14-0-14(あるいはリン酸を含まない硝酸カリウム/カルシウム系)の肥料供与を 50-75ppm(N)の濃度で開始する
- この後、水と液肥を交互に与え、水やり 2, 3 回に肥料を 1 回くらいの間隔が適当
- 防疫の観点から、かん水はなるべく早い時間に行い、夕方まで葉に水滴が残らないように注意する

ステージ 3 - 本葉の発達と苗の生長段階
(2 から 3 週間)

- 地温は 20-21°C(少し落とす)
- 前ステージと同様に、培地は乾かしぎみにドライに管理するが、やはり苗を枯らさないように注意する。培地を乾かした方が、根が強くなり余計な新芽を抑えやすくなる
- 土壌 pH は 5.5 から 5.8, EC 値は 1.0mmhos/cm(2:1)以下が適正な条件
- 施肥は、20-10-10 の肥料を 100-150ppm(N)の濃度まで上げる。同濃度で 14-0-14(あるいはリン酸を含まない硝酸カリウム/カルシウム系)の肥料の代用も可能
- 同様に水やり 2, 3 回に肥料を 1 回くらいの間隔が適当

- 生長制御には昼夜の温度差による DIF の使用を推奨。とくに、日の出後の 2 時間の温度の低い時間帯は丈の抑制に高い効果があると言われているので、しっかり換気をする
- 矮化剤を使用する場合は、コリウスでは A-レスト、B-ナイン、ボンザイのそれぞれで効果が確認されているが、使用規制に準拠し適正な使用方法をとる

ステージ 4 - 苗の移植ないし出荷直前期
(約 1 週間)

- 地温は 16-17°C(前ステージよりも落とす)
- これまでと同様、培地はドライな管理を続ける
- 土壌 pH は 5.5 から 5.8, EC 値は 0.75 mmhos/cm(2:1)以下が適正な条件
- 必要に応じて、14-0-14(あるいは硝酸カリウム/カルシウム系)の肥料を 100-150ppm(N)の濃度で与える

鉢上げから出荷まで

温度(生育適温)

- 昼間: 21-24°C
- 夜間: 17-18°C

光条件(照度)

50,000 ルクス(5,000f.c.)を超えるような場合は遮光が必要

培地(用土)

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。初期の養分値は中庸で、用土の pH は 5.5 から 6.0 が適正

肥料

- かん水と交互に 15-0-15(あるいは 20-10-20)の肥料を 150-200ppm(N)の濃度で与える
- 電気伝導度 EC 値は 1.0mmhos/cm(1:2)の中庸を維持
- コリウスはあまり肥料食いの植物ではないので、施肥の過剰は葉色の褪色や活力の鈍化につながる

草丈の調節(抑制)

- 矮化剤をかん注で与える場合は、株が活着して根が鉢の内壁にまで達した頃を目安に行なう
- また、とくにリン酸やアンモニア態窒素を含む肥料を控えることで草丈を抑制することも可能
- コリウスは、ネガティブ(マイナス)DIF によく反応する植物なので、化学品への依存を避けられる場合はその方法をとる
- コリウスへの矮化剤の使用では、A-レスト、B-ナイン、ボンザイで効果が確認されている

最終製品としての(出荷後の)管理

温度

- 昼間: 21-24℃
- 夜間: 17-18℃
- 店頭で陳列された後は、植物の望ましい条件を維持することは現実に容易ではないが遮光や換気などをうまく使う
- ネガティブ(マイナス)DIF を使って、温度の低い時間帯にしっかりと換気を行い、株を徒長させないことが、品質を高く維持するための基本である

光条件(配置等)

- 時間的に適宜、あるいは完全に遮光されたスペースでの陳列や配置が望ましい。直射日光の強い場所では葉焼けを起すことがあるので注意が必要。日あたりのよい場所に置かれるときは水切れさせないように注意する
- 屋内のように、ほとんど光が入り込まない条件では徒長しやすいので注意する

病虫害について

害虫: アブラムシ、コナガ、ホワイトフライ等

病気: ボトリティスや斑点病、パーテシリウム等の細菌感染が報告されています

その他の注意点: 日照量や光が弱いと、節間の伸びが顕著になるので注意が必要

チョコレートミント/ダークチョコレートの生産期間

播種から移植まで (288 穴プラグトレイ)	ステージ 1: 4-5 日 ステージ 2: 10 日 ステージ 3: 14-21 日 ステージ 4: 7 日 合計 35-43 日(5-6 週)
移植から開花まで (9-10.5cm、12cm ポット または 15cm で 3 本定植)	概ね 8-10 週

注意: 同品種を生産する場合は、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてお使いください。生産される植物は、気候条件や地理的な緯・経度、また作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります

注意点: EC 値(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、土を用いた配合では適合し得ない場合もあります

630 231-1400
panamseed.com

© 2008 Ball Horticultural Company PAS08024-Eng

™ および®は、アメリカ合衆国およびその他の国における Ball Horticultural Company の登録商標です

この栽培資料は、2008 年に Ball Horticultural Company によって作成された英語による原版を許可の下で日本語に翻訳しており、一部に省略等があります

PanAmericanSeed®